

(別記)

東郷町地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

東郷町は、水田を主体とした農業地域です。零細兼業農家が多数を占めており、農業者の高齢化や担い手不足が課題となっています。

こうした中、平成18年1月に有限会社東郷農産が設立され、利用集積や作業受託により担い手不足及び耕作放棄地対策などが図られています。

一方、平成26年3月に東郷中央土地区画整理事業（約43.4ha）により農業振興地域内農地が市街化区域に編入され、同年11月に区画整理組合が設立したことから、農地面積（約25.2ha）が減少する見込みです。

2 作物ごとの取組方針

(1) 主食用米

東郷町の主要な作物は水稲であるため、東郷町地域水田農業ビジョンで位置付けた担い手を中心に農地の利用集積及び作業受委託の拡大等を図ります。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

生産調整の推進と不作地解消のため、平成27年産水稲作付けから飼料用米を加工用米に次ぐ転作作物に位置付け推進します。

イ 加工用米

生産調整の推進と不作地解消のため、加工用米の生産を推進し食料自給率の向上に努めます。

また、複数年契約への取り組みも推進します。

(3) 大豆

生産調整の推進と不作地解消及び国内需要の高い大豆の生産を増やすため、実需者の要望などに即した生産を推進します。

(4) 野菜、果樹、花き・花木、地力増進作物

生産調整の推進と不作地解消のため、野菜、果樹、花き・花木、地力増進作物（以下「野菜等」という。）の作付けを推進します。

(5) 不作付地の解消

東郷町農地バンク制度等を活用し、不作付地の解消に努めます。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 25 年度の作付面積 (ha)	平成 28 年度の作付予定面積 (ha)	平成 30 年度の目標作付面積 (ha)
主食用米	195.2	180.0	185.1
飼料用米	0.0	10.4	10.4
米粉用米	0.0	0.0	0.0
WCS 用稲	0.0	0.0	0.0
加工用米	10.8	11.1	6.0
備蓄米	0.0	0.0	0.0
麦	0.0	0.0	0.0
大豆	1.9	0.7	0.7
飼料作物	0.0	0.0	0.0
そば	0.0	0.0	0.0
なたね	0.0	0.0	0.0
その他地域振興作物	34.3	36.0	36.0
野菜等	19.3	24.5	24.5
花き・花木	1.2	1.1	1.1
果樹	8.0	5.1	5.1
地力増進	5.3	5.2	5.2
景観形成	0.2	0	0
豆類（大豆以外）	0.3	0.1	0.1

4 平成 28 年度に向けた取組及び目標

取組 番号	対象作物	取組	分類 ※	指標	平成 25 年度 (現状値)	平成 28 年度 (目標値)	平成 28 年度 の支援の有無

※「分類」欄については、要綱（別紙 11）の 2（5）のア、イ、ウのいずれに該当するか記入して下さい。（複数該当する場合には、ア、イ、ウのうち主たる取組に該当するものをいずれか 1 つ記入して下さい。）

- | |
|--|
| ア 農業・農村の所得増加につながる作物生産の取組
イ 生産性向上等、低コスト化に取り組む作物生産の取組
ウ 地域特産品など、ニーズの高い製品の産地化を図るための取組を行いながら付加価値の高い作物を生産する取組 |
|--|

5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり